



ひうひうだより No7. 2013.10.1

長、夏休みが明け、ひびひの森も秋の気配が日に日に濃くなっています。木の実やキノコ、こうもりやアゲハ蝶、秋の花や草、秋の香りなど、秋の物語がここにあります。9月からひびひの仲間に加入了。みんなの時間と慣習を尊重して、いつもひびひの場所に、仲間にても安心感を増しています。そんな中で、降園後に転んで肩を深く怪我してしまい、食べることが不自由な日がありました。木曜日の夜にギリギリ食べられず、代わりにハナナを持参。ハナナが大好きだ子も多いはずですが、でも「僕も欲しいー！ハナナかい！」、「うるさい！」などの声は全く上がりません。みんなの怪我のことをよく理解し、一緒にテ-アトルで囲ひぐるぐる立派な大人の眼差しで見守ってくれました。

来年度からの入園を検討されている方の見学も続々あります。親子で参加の場合は、ぐぐりさんと一緒にランチを食べながら、おもちゃ遊びで見学前の方へ連れてテ-アトルへやつれこひかへきました。待合室を前に先に「いよいよです」と食べ始めているぐぐりさん。案内を見た見学前の方へ「ここだよ！」と声をかけてくれたのは遙くん。席に着くのを待つて、その親子のために♪本物かがいこもすいたので♪と遙くんが歌い始めると他の子も声をあわせて歌っていました。その後、みんなで手を組んで「みんなでいっとうといいよだい！」と2回目の挨拶。初めて出会う子も仲間として関わるぐぐりさん、ステキでした。

既にご案内している通り11月14日(木)に松木正太郎を招いての講演会を行います。ある日、松木さんから「家族のおじいちゃんアーヴィング・ロイは「この大地の上に生きるものにとって、最も大事なものが何がかかるか?」と質問されたことがあります。答えたかった松木さんに、しばらくしてロイは「Faith(信頼)だ!」と言ひ、しばらく沈黙の後、「Faithがないことは、何も起こらない……。」と語ります。びっくりです。小さい子でも大人でも、時間は過ぎても、このエピソードが頭によみがえります。仲間を信頼(ひみがえ)生き抜く(く)を教わる。その源となりますのは、「家族から自分は信頼(ひみがえ)している人だ」という安心感(じんきんかん)。この事が、自分の信頼(ひみがえ)を深めてゆき、仲間や出会った人の信頼(ひみがえ)つながりへいくよう思います。

松木さんとの出会いは2008年6月。清潔の森で濃く深い3泊4日を共にしました。それが「いま、ここに Faith (信頼) はあるか?」ということ練習(自問自答)になります。実は、ピアノに深く関わることには、Fの力も、松木さんの存在が大きく影響しています。たくさんのうきこに松木さんとの時間をやめられないで思っています。(講演会、事前申込料です。申込をお忘れなく...)

：慎之介

ああきいくみだより

夏休みを越え 9月も終わりのこの時期、松ぼっくりやいんげんが大くりえんげどの子も遊びこんでいる和やかな日々です。この満足したうな笑顔がどの子も美しい! そんな充実期のようす今、くりたくりは清里キャンプに行きました。13人全員で行きました。それに物語があり物語清里の牧草地でひろい空に、くつきの山の山様を見ながら「全員でここはいる」といは深い感情の気分であります。山を見ながら味わいつめらの特別な夜でした。3日も産の一言を記します。それは樂しく喜びで感動いたがから嬉しいです。

## お知らせ

今年も入園への手続きのひとつが始まっています。周りの方に  
お声をかけてくださって、ありがとうございます。意外だったことは、卒園生  
が「教えていたキレイだ」と言ってこられた方が数組…。卒園生達が学校を  
「ひびいてすごく楽しい幼稚園だよ」大好きだった、「もうびびってられないよ…」と  
話すのを聞いて、上の子どもが家に帰って話すと両親がびびる話を  
(いたしました)。卒園生達が素直に喜びを語り、周りにいる人の心が動き  
繋がる…感動しました。乗せや揚げて話す言葉は在園して  
いた本人だけに説得力があるのでしょうか。そんな言葉が自然に出ていた  
うな「今」をこれから育もうとあらため感動しました。

- 再入園の方を、ご紹介します。

お仕事のご都合で日本を離れ、この度帰国し、10/1～10/10に車両予定  
です。

- 保護者会の知らせ

日時 10月8日(火) 9時20分～ メインホールにて

お子様の出席をお願いいたします。

- 10月17日(月) おあさいくみの保育は レクの森で行います。

時間・持ち物のなどは通常と同じです。

お天気があやしい場合など、当日朝7時頃メールにて  
変更のお知らせをいたします。

- 10月のアート日 10日(木) 24日(木)

- 10月のえりんこたいそう 15日(火)  
9月半ば、8月半ばも始まりました。お問い合わせ下さい!!

- 10月15日(火)に大規模災害に備えた「引取り訓練」を実施します。  
お迎えに来ていただく場所がいつまでは異なる場所になります。実際の  
災害時を想定してどこにお迎えに来て頂くかの連絡を、「災害伝言版」  
や「災害伝言ダイヤル」等を使って行います。詳細については別途アリ  
メントを出しますのでご確認ください。
- おあさいくみ「山登り遠足」を 10月21日(月)に予定しています。  
詳細については、後日配布するプリントをご確認ください。
- 10月の くみの日 31日(木) 9時～  
お近くに 0・1歳児から楽しめるご家庭がありましたが、お伝え  
ください。ご予約が必要なことも合わせてお知らせください。
- 秋の森の健診  
春に統合園医の北澤恵美子Dr.による健診を行います。  
日時 11月1日(金) 12時～びびの森にて  
健診内容 内診・触診・身長  
① 当日 内診しやすい衣類を ご配慮ください。  
② 体重は、正確に計れる場所がないため、ご家庭での計測をお  
願いいたします。  
③ 北澤恵美子Dr.はお聞かしいたいことがありますから、お知らせ  
ください。  
④ 後日「健診診断の記録用紙」を お渡しします。体重記録と  
確認印を お願ひいたします。びびへの戻りは、一週間以内  
でお願いします。
- お次さんのが 12月1日(日)に予定されています。詳細には  
後日、お知らせいたします。
- 10/29(火) 崇の監査が入ります。

## 田畠で<sup>は</sup>ぱり

9月5日、おひきいみばは田山<sup>やま</sup>でかじ作りをしました。これまで田の田山<sup>やま</sup>ではありスズメを見かけませぬとしていたが、夏前にはまたアマメトリ<sup>アマメトリ</sup>と見つけた。豪<sup>ハ</sup>にはせかげていて、アマメトリ<sup>アマメトリ</sup>は<sup>アマメトリ</sup>が、今年は子<sup>コ</sup>のうや猛暑<sup>マツシキ</sup>で、生きものもエサをうるさい<sup>アマメトリ</sup>（アマメトリのうるさい<sup>アマメトリ</sup>）、それからうは<sup>アマメトリ</sup>のスズメ<sup>アマメトリ</sup>度々<sup>ハ</sup>田畠へや、こ来るよう<sup>アマメトリ</sup>に<sup>アマメトリ</sup>ます。ひよひよ<sup>アマメトリ</sup>そのことと言ふと、奏<sup>アマメトリ</sup>（ぼくわざ）と田山<sup>やま</sup>で立<sup>アマメトリ</sup>てお米<sup>アマメトリ</sup>食べ<sup>アマメトリ</sup>ように見張<sup>アマメトリ</sup>ってあります。權<sup>アマメトリ</sup>ト<sup>アマメトリ</sup>ヤチ<sup>アマメトリ</sup>の真似<sup>アマメトリ</sup>をしてガオ<sup>アマメトリ</sup>とおどかす<sup>アマメトリ</sup>と勇ましい<sup>アマメトリ</sup>擊退法<sup>アマメトリ</sup>を考<sup>アマメトリ</sup>えてくれました。奏<sup>アマメトリ</sup>立<sup>アマメトリ</sup>るには大変<sup>アマメトリ</sup>で、かかしい<sup>アマメトリ</sup>人形<sup>アマメトリ</sup>に立<sup>アマメトリ</sup>るにもううやうが<sup>アマメトリ</sup>あります<sup>アマメトリ</sup>と云えと「やる！やる！」と、それぞれ家<sup>アマメトリ</sup>から<sup>アマメトリ</sup>使<sup>アマメトリ</sup>れてアマメトリ洋服<sup>アマメトリ</sup>や帽子<sup>アマメトリ</sup>を手<sup>アマメトリ</sup>に<sup>アマメトリ</sup>くれる<sup>アマメトリ</sup>としてあります。さて当日の朝、まずは竹<sup>アマメトリ</sup>やぶらからのかしの骨組<sup>アマメトリ</sup>で<sup>アマメトリ</sup>切り出しました。卓<sup>アマメトリ</sup>の会の後、3つのグレープ<sup>アマメトリ</sup>に令<sup>アマメトリ</sup>かれて、各々かじ作り<sup>アマメトリ</sup>がスタート。草<sup>アマメトリ</sup>や葉<sup>アマメトリ</sup>は束ねて丸め、3本<sup>アマメトリ</sup>や頭<sup>アマメトリ</sup>の部分を作り、ススキの穂<sup>アマメトリ</sup>を<sup>アマメトリ</sup>結<sup>アマメトリ</sup>わえて<sup>アマメトリ</sup>の<sup>アマメトリ</sup>モニ<sup>アマメトリ</sup>に<sup>アマメトリ</sup>して、か<sup>アマメトリ</sup>の<sup>アマメトリ</sup>穂<sup>アマメトリ</sup>や木片<sup>アマメトリ</sup>で顔<sup>アマメトリ</sup>を立<sup>アマメトリ</sup>本<sup>アマメトリ</sup>的<sup>アマメトリ</sup>に<sup>アマメトリ</sup>作<sup>アマメトリ</sup>。それはそれは個性<sup>アマメトリ</sup>的<sup>アマメトリ</sup>かかし3体<sup>アマメトリ</sup>が<sup>アマメトリ</sup>でき、工<sup>アマメトリ</sup>なりました。「ちよと顔<sup>アマメトリ</sup>が怖い」「こ、こにはかわいい」田山<sup>やま</sup>に立<sup>アマメトリ</sup>と風<sup>アマメトリ</sup>ススキの穂<sup>アマメトリ</sup>の<sup>アマメトリ</sup>モ<sup>アマメトリ</sup>が<sup>アマメトリ</sup>よしよしゆれ<sup>アマメトリ</sup>、<sup>アマメトリ</sup>良<sup>アマメトリ</sup>き<sup>アマメトリ</sup>と見えました。先日、台風<sup>アマメトリ</sup>が信州<sup>アマメトリ</sup>の工<sup>アマメトリ</sup>を通過<sup>アマメトリ</sup>しましたが、その次の朝、泰雅<sup>アマメトリ</sup>「田山<sup>やま</sup>は泰雅<sup>アマメトリ</sup>、大丈夫<sup>アマメトリ</sup>？」泰雅<sup>アマメトリ</sup>「かかし、倒<sup>アマメトリ</sup>れて？」<sup>アマメトリ</sup>と<sup>アマメトリ</sup>いき<sup>アマメトリ</sup>くくれて、泰雅<sup>アマメトリ</sup>「泰雅<sup>アマメトリ</sup>もかかしもしゃかり立<sup>アマメトリ</sup>て、<sup>アマメトリ</sup>無事<sup>アマメトリ</sup>でした。今<sup>アマメトリ</sup>は<sup>アマメトリ</sup>黄色<sup>アマメトリ</sup>く色<sup>アマメトリ</sup>いて穂<sup>アマメトリ</sup>を無<sup>アマメトリ</sup>れ、穂<sup>アマメトリ</sup>刈<sup>アマメトリ</sup>りの日<sup>アマメトリ</sup>を待<sup>アマメトリ</sup>てます。（文中敬<sup>アマメトリ</sup>意<sup>アマメトリ</sup>）：美和子



## ひよひよレシピ Note 「カリん<sup>アマメトリ</sup>ピクルス」

- ・さゆうりやカブ<sup>アマメトリ</sup>を茹<sup>アマメトリ</sup>せりにし、手<sup>アマメトリ</sup>て木板<sup>アマメトリ</sup>の上<sup>アマメトリ</sup>で<sup>アマメトリ</sup>塩<sup>アマメトリ</sup>を干<sup>アマメトリ</sup>してよくもん<sup>アマメトリ</sup>でおく。
- ・お鍋<sup>アマメトリ</sup>にカリん<sup>アマメトリ</sup>1/2カップ<sup>アマメトリ</sup>を煮立<sup>アマメトリ</sup>て、アレコレ<sup>アマメトリ</sup>レバ<sup>アマメトリ</sup>が飛<sup>アマメトリ</sup>んでから火<sup>アマメトリ</sup>を止<sup>アマメトリ</sup>めて、米酢<sup>アマメトリ</sup>1/2カップ<sup>アマメトリ</sup>を足<sup>アマメトリ</sup>し、こしに<sup>アマメトリ</sup>く1かけ（半割<sup>アマメトリ</sup>）とローリエ<sup>アマメトリ</sup>の葉<sup>アマメトリ</sup>を入れる。ニニニ先ほどの塩<sup>アマメトリ</sup>もみ野菜<sup>アマメトリ</sup>を加<sup>アマメトリ</sup>え、半日<sup>アマメトリ</sup>ほど置<sup>アマメトリ</sup>いてから<sup>アマメトリ</sup>でき工<sup>アマメトリ</sup>なり。
- ・ジップロック<sup>アマメトリ</sup>やビニール袋<sup>アマメトリ</sup>に入れて漬<sup>アマメトリ</sup>けと、リバの漬<sup>アマメトリ</sup>け汁<sup>アマメトリ</sup>で<sup>アマメトリ</sup>て、この野菜<sup>アマメトリ</sup>を漬<sup>アマメトリ</sup>けられます。そのまん<sup>アマメトリ</sup>冷蔵庫<sup>アマメトリ</sup>に入れれば<sup>アマメトリ</sup>日<sup>アマメトリ</sup>持<sup>アマメトリ</sup>ります。

## ひよひよの森の小鳥たち（9月ヤマガラ）

ニーニー<sup>アマメトリ</sup>ニーヨ<sup>アマメトリ</sup>シーチー<sup>アマメトリ</sup>シーチー<sup>アマメトリ</sup>♪と、人なづ<sup>アマメトリ</sup>い声<sup>アマメトリ</sup>で鳴<sup>アマメトリ</sup>きながら、愛らしいオレンジ<sup>アマメトリ</sup>色<sup>アマメトリ</sup>の姿<sup>アマメトリ</sup>の小鳥<sup>アマメトリ</sup>がいたら、それはヤマガラ<sup>アマメトリ</sup>に間違<sup>アマメトリ</sup>いありません。

9月の羊<sup>アマメトリ</sup>は<sup>アマメトリ</sup>夏から赤く色づきだすイチイの実。子どもたちも大好物のその実をつんづん、とフリ<sup>アマメトリ</sup>い<sup>アマメトリ</sup>ヤマガラ<sup>アマメトリ</sup>。

食事中は害<sup>アマメトリ</sup>と警戒<sup>アマメトリ</sup>が<sup>アマメトリ</sup>ない<sup>アマメトリ</sup>ので、そばまで<sup>アマメトリ</sup>よってその様子をじっくり<sup>アマメトリ</sup>とみることが<sup>アマメトリ</sup>できます。ヤマガラ<sup>アマメトリ</sup>は種<sup>アマメトリ</sup>も果肉<sup>アマメトリ</sup>も食べてしま<sup>アマメトリ</sup>う<sup>アマメトリ</sup>ことが<sup>アマメトリ</sup>夕<sup>アマメトリ</sup>ですが、人間<sup>アマメトリ</sup>にとっては種<sup>アマメトリ</sup>は毒<sup>アマメトリ</sup>だ<sup>アマメトリ</sup>そうです。でも子どもたちには、ヤマガラ<sup>アマメトリ</sup>に<sup>アマメトリ</sup>い？それは上手<sup>アマメトリ</sup>に種<sup>アマメトリ</sup>をだ<sup>アマメトリ</sup>いて食べ<sup>アマメトリ</sup>ています。

：葉口東

